

新年のご挨拶

-2024年(令和6年)1月4日-

新年明けましておめでとうございます。



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
理事長
富永 健司



1962年当時の
いずみの園建設場所付近
(いずみの園建設前)



1978年 竣工当時
【定員50名 職員26名】



現在のいずみの園

いずみの園は本年度、創立45年を迎えました。キリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とし、信望愛をモットーにして1978年(S53)、永添にいずみの園は誕生しました。いずみの園45年の歴史を振り返ってみます。

1962年の写真を見ると、そこには神戸製鋼の軍需工場がありました。いずみの園は神戸製鋼の跡地に建てられました。工場群は255ヘクタール、東京ドーム55個分の敷地があり、6千人の工員が戦闘機の部品を製造していました。写真にはサレジオ会の聖ヨゼフ寮の白いチャペルが写っていますが、悲惨な戦争の傷跡にキリスト教の聖ヨゼフ寮といずみの園が誕生しました。そこには、戦争の軍需工場が平和の福祉施設に変わるという歴史的な変遷がありました。1978年いずみの園創設、50人のお年寄りを26名の職員がお世話を始めました。

1988年大分県第1号「デイサービスセンターふれんど館」事業開始。1990年「ホームヘルパー事業」、「在宅介護支援センター事業」開始。1992年には特別養護老人ホームを110床(ショートを含む)に増床増築しました。また、いずみ館を新築し「大分県介護実習・普及センター事業」が県の指定を受けました。1995年には「ケアマンション聖愛ホーム」が完成、ケアハウス事業が始まりました。この頃になると、いずみの園の敷地面積は1万坪を超え、当時の事業収入は6億円、職員数は100名程度でした。

2000年(H12)介護保険法が制定されました。この時期は戦後55年が経過、政治、経済、医療等の基礎構造改革が始まり、福祉も社会福祉基礎構造改革として介護保険法、社会福祉法が制定されました。介護保険制度の導入により、福祉サービスの利用はそれまでの行政措置から契約制度となり、民間参入(株式会社等)や利用者本位など施設経営の自己責任が問われるようになりました。

いずみの園のサービスコンセプト

2000年制定

アメニティ(快適サービス)

⇒快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービス提供を行う

ヒューマニティ(人間中心)

⇒心と体の自由を尊重、一人ひとりの個性を大切にサービスを提供を行う。

ローカリティ(地域密着)

⇒地域と共に歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たす。

24時間・365日 生涯安心

いずみの園

一貫性、継続性、CCRC(Continuing Care Retirement Community)
複合・多機能サービス 地域密着・網の目サービス

生涯安心・いずみの園「新5か年プラン」2012年～2016年
 基本理念「キリスト教の愛と奉仕の精神で仕えよう」
 一 信・望・愛

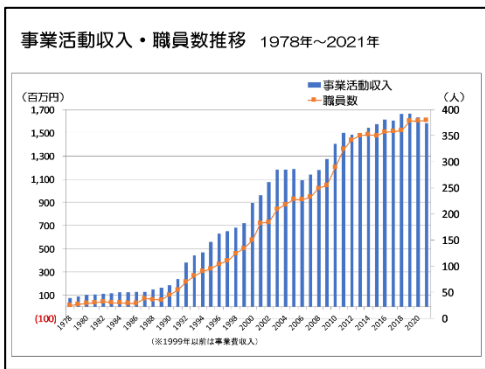
本年4月、第5回全国福祉事業計画がスタートした。国政の世代が総選挙前に入ることの5年間で、半世紀を前に「生涯安心・いずみ」の理念・目標・基本理念・経営方針・経営戦略を定める。福祉施設のアシスト」を掲げたい。

一、政府が財政削減政策のなかで「福祉削減」という方針を打ち出した。福祉削減は、福祉サービスの削減を意味する。福祉削減は、福祉サービスの削減を意味する。福祉削減は、福祉サービスの削減を意味する。

①「中津総合ケアセンターいずみの園」の構想
 ②「障がい事業」の展開
 ③共立型「かきぜサポートセンター」事業の推進
 ④新規事業の開発

⑤事業計画・組織改革
 ⑥サービスの質の確保
 ⑦ワークライフバランス

2000年、21世紀型福祉サービスを目指して、いずみの園サービスコンセプトを制定しました。①アメニティー-快適サービス②ヒューマニティー-人権尊重③ローカリティー-地域密着を3本柱として、24時間365日、サービスの質、複合・多機能サービス、生涯安心の実現に取り組みました。2012年には「いずみの園新5か年プラン」を策定、国が進める地域包括ケアシステムを推進し、高齢者、児童、障がい者、母子、貧困など地域の福祉ニーズ全般に応える中津総合ケアセンターいずみの園構想をスタートさせました。この頃事業収入9億円、職員は150名でした。



2006年一戸建有料老人ホーム「いずみの森」開設、2010年夜間対応型訪問介護事業(ヘルパー24時間サービス)、認知症対応かきぜグループホーム事業、小規模多機能型「寄り合いセンターいずみ」事業を開始、2013年障がい就労継続支援「ワークセンターシャローム」を開設しました。2015年「福祉の里センターサマリア館」を新築し高齢者・児童・障がい児者・地域子育て支援事業等開始、中津総合ケアセンターいずみの園の体制が整いました。2020年度法人全体で事業収入は19億円、職員数は430名です。

週刊現代 紙面より

2018年5月

「安心して親切な」ホーム 全国58施設

理想の特養老人ホーム

入居に特養ベスト50

2023年度の事業計画、基本方針は「いずみの園45周年一福祉のまちづくりの推進」としました。高齢者・障がい・児童3福祉の確立を図り、地域共生社会を目指し、地域諸団体と連携を強化して福祉のまちづくりを推進します。2018年5月、週刊現代は「理想の特養老人ホーム」として特集を組み、全国1万数千か所の特別養護老人ホームから58施設の老人ホームを選び、九州のトップとしていずみの園を指定しました。

いずみの園の45年の歴史に誇りと責任をもって、福祉のまちづくりに挑戦します。新しい1年、みんなで力を合わせ頑張りましょう。